

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

<http://www.okinawasisi.com>

10月末現在の会員数556人

(男性338人・女性218人)

多彩な活動で盛り上がった「普及啓発促進月間」 ボランティアに延べ119人



10月はシルバー人材センター事業の趣旨や意義を広く地域社会にアピールする**普及啓発促進月間**。当センターでは独自の取組みとして月間中、16・17日の両日に市役所での「普及・啓発パネル展」の開催を皮切りに、19日の「シルバーの日」には、役職員をはじめ多くのシルバー会員が参加して中央パークアベニュー周辺の草刈・清掃を実施。さらに21日、独居高齢者宅の室内外の清掃を行うなど多岐にわたり普及啓発活動を行った。また、沖縄県シルバー人材センター連合主催の「会員経験交流大会」にも役職員や会員らが参加し、他SCとの絆を強めた。

月間中、多様な取組みのボランティア活動に延べ119人が参加した。

シルバー人材センターの理念



自主 自分のものとして考え



共働 一緒になって働き



自立 自分たちの力で育てる



共助 お互いに助け合う

「普及・啓発パネル展」 市役所1Fホール

センター会員の活動を紹介

センター会員の活動状況を紹介する「普及・啓発パネル展」が10月16・17の両日、市役所1F市民ホールで開催された。来場者は2日間で187名。初日のオープニングセレモニーでは、上原秀雄理事長が「少子高齢化の進行とともに人手不足など深刻な課題も多く、シルバーの果たす役割はますます増大していく。展示パネル展を通して、市民が活動状況を知り、普及啓発がさらに広がっていくことを期待したい」と挨拶。

続いて、小浜守勝市議会議員、上原三千代市民経済部長が来賓挨拶を述べた。



上原秀雄理事長

市議会議員
小浜守勝

市民経済部長
上原三千代



相談コーナー

相談コーナーでは、入会を希望する60歳代の方を訪れ、就業内容や入会手続きなどについて聞き入っていた。

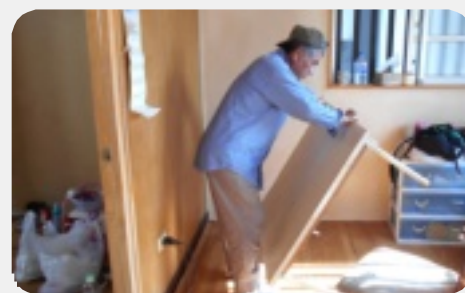
草刈班2人と福祉・家事班2人の合わせて4人が10月21日、松本在の比屋根敏明さん宅で室内の清掃作業を行った。比屋根さんは「長い間、掃除や片付けなどができずに困っていた。シルバーの皆さんにきれいにしていただき、ほんとにうれしいです」と感謝していた。

作業は床掃き掃除からカベ拭き、窓拭き、トイレ清掃のほかエアコンクリーニング、窓すだれ取付、粗大ごみ搬出などと広範多岐に及んだ。

独居高齢者宅 清掃ボランティア



(写真前列右から) 高江洲洋子さん、比屋根敏明さん、稲嶺清子さん(後列右から) 村田正義さん、池味謙次さん



センター事業の趣旨や意義をアピール



浜比嘉進コサ商
店街連合会長

我喜屋盛永セン
ター自治会長

上原秀雄理事長



作業前のウォーミングアップは恒例のうちな〜ぐちラジオ体操で



「シルバーの日」 清掃ボランティア

中央パークアベニュー通り清掃に115人

にある「ゆんたくまちや」前に、多くの会員がゴミ袋や清掃用具を手に集合。普及啓発促進月のボランティア事業として、毎年実施している中央パークアベニュー周辺の美化作業を今年も行った。上原秀雄理事長は「先日の普及啓発パネル展に続き、今日の清掃ボランティアと様々な活動を通して、広く市民へ周知をしていくのが普及啓発促進月の目的。会員皆さんの協力に感謝します」と挨拶。続いて我喜屋盛永センター自治会長、浜比嘉進沖縄市センター商店街振興組合理事長が「シルバーの皆さんが地域のためにボランティア活動はともありがたい。快く愛される地区づくりに皆さん共に頑張っていきたい」と感謝。この日は天気が不安定で心配されたが曇り空の中、地区ごとに割り当てられた作業区域を総勢115人が約2時間かけて清掃。すっかりきれいになった通りに清掃に加わった付近の住民も喜んでいた。

「シルバーの日」の10月19日午前8時半、パークアベニュー通り

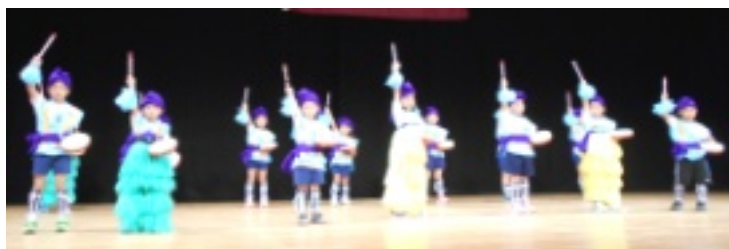




うるま市SCの松井功会員、読谷村SCの長浜功勇事務局長が経験発表した。

最後に、日本脳力開発研究所イプスジム那覇代表の島袋松秀氏が「脳トレでイキイキ人生！」と題して特別講演。同氏はこれまで約1000名の学生に脳力開発トレーニングの指導経験を持つ脳トレのスペシャリストとして知られる。

連合主催「会員経験交流大会」 当センターから17人が参加



沖縄県シルバー人材センター連合主催の令和元年度会員等経験交流大会が10月23日、浦添市でたこ小ホールで開催された。当センターから上原秀雄理事長をはじめ、役職員や会員ら17人が参加した。



島袋松秀氏

特別講演(要約)

はじめに、脳の仕組みや構造、働きについて知ることが大事。それを踏まえ、脳トレで改善できる様々な事例や脳の状態を考えたい。

脳は筋肉と同じで自分で鍛えられる。鍛えることによって、脳をフルに使い、シナプスを増やして、記憶と集中力を高め、頭を柔らかく、広い視野を養う。これらは、「脳トレ」で解決でき、日常生活のメンタルトレーニングとして、期待感と満足感を高める練習であり、それを1週間続ける。脳の構造上、反射の形成、情報の書き換えに最低1週間かかるからである。

見る力で自分の脳力を発揮できるという目から脳を鍛える事も大切だ。眼の機能回復につながり、加齢とともに視野が狭くなるのを改善。認知能力の低下を防ぐ。これは多発する高齢ドライバー交通事故の防止にも役立つもので、いわゆる「空間の認知能力」の向上である。

最後に、意外な効果があるものとして「お手玉」がある。お手玉遊びは安全な遊び道具として集中でき、内臓や脳の働きを活性化させ、記憶力とバランス感覚が鍛えられる。うつ病や認知症の予防にもなる。

第7回 理事会

就業延人員、配分金は増

― 9月実績 ―

第7回理事会が10月25日、シルバーワークプラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」については、7人(男性6人・女性1人)が承認され、その結果10月25日現在の会員数は556人(女性218人・男性338人)となった。尚、9月の退会者は0人。

議案第2号「会員会費免除の承認」については、公益社団法人沖縄市シルバー人材センター会員会費規程第2条第2項の規定に基づき、会員2人が原案通り承認された。

令和元年9月の主な実績では、会員数549人で44人の減(▲8%)、就業実人員323人で17人の減(▲5%)、就業延人員3776人で106人の増(2%)、配分金約1852万円で約40万円の増(2%)、契約金額約2309万円で約9万円の微増(0.4%)となった。(いずれも対前年同月比)最後に当面の日程が確認された。

無事故記録

令和元年9月27日
令和元年10月25日現在

29日

就業拡大委員会

令和元年度第2回「就業拡大委員会」(渡口正美委員長)が10月9日、シルバーワークプラザ執務室で開催された。

この日は4つの議題について審議。

結果、①令和元年度上半期の所掌事項(受託事業・派遣事業)の進捗状況については、センターの運営基盤である入会率、就業率について引き続き推移を見極めながら推進していく②入会促進については、会



員一人ひとりが一人の仲間を増やす会員増強運動に取り組む③未就業者対策については、実態把握をしたうえで分析・検証する④就業拡大については、会員一人が一つの仕事を開拓する就業開拓運動の実施を確認した。

(写真右から)須田勝委員、塩川初江委員、渡口正美委員長、又吉綱一委員、仲宗根正史担当職員

作業前の安全・危険予知の確認を 連合と合同安全パトロール実施



連合との合同安全・

適正就業パトロールが10月18日、松本都市緑地公園と馬場都市緑地公園の両就業現場で行われた。

連合の玉城徳三安全・適正就業パトロール指導員は「自分自身で自分をしっかりと守り、事故を起こさないという習慣をつけることが大切」と強調。また、他のセンターの事案として草木伐採や枝打ちをカマ使用で作業中に手を切るという事故が発生しているとし、作業内容によっては、厚手の手袋を着用して携帯ノコギリや小型チェーンソーなどを使用した方がより安全な場合もあると指導を行った。上江洲勝安全担当は「事故は油断した時に起こり易く、いつ起きるか予測できません。就業現場においては、会員個々の心がけが大事。常に緊張感を忘れずに取り組んで頂きたい」と訴えた。

今年度初の傷害事故発生 フロアー清掃中に転倒骨折

今年度こそ「事故ゼロ」を目指してのスタートも残念ながら、1件目の事故が発生した。

＊事故内容…フロアー使用で清掃中に転倒。

＊発生日時…令和元年9月27日(金)

午前9時50分頃

＊発生場所…運動公園施設内

＊事故状況…施設内でフロアーを使用して、落ち葉や木の実などの清掃作業中、地面の木の根っこにつまずき転倒。その際、とっさに体を支えた左手の親指付け根部を骨折した。

＊事故原因…当日は、台風一過後の作業現場のため、木の葉や小枝、木の実などが木の根っこまで覆うほどに散乱、それに気づかずつまづいて転倒した。

＊事故後の対応…事故当日は大きな痛みがなかったため、その日は就業を続けた。翌週になっても痛みが残ったので、医療機関にて検査した結果、左手付け根部に2ヵ所の骨折が判明。手術は要しないが2ヶ月療養の診断を受け、リーダーを通じて事務所に報告。

＊再発防止対策…高齢者の身体機能の低下や就業時の危険予知については、日頃から注意を促しているが、特に足元の悪い場所ではより慎重な行動が求められた。

「ゆんたくまちや」情報

ズンバゴールドで心も体も元気に 女性部会事業がスタート

女性部会の最初の主催事業として「ズンバゴールド教室」が10月1日、「ゆんたくまち」やでスタート。シルバー女性会員ら13人が参加して、音楽にあわせて楽しく踊りながら心地よい汗を流した。ズンバゴールドは、効果的に全身運動ができるフィットネスプログラムであるズンバを基本にしながら、高齢者向けのプログラム内容にアレンジしたもの。インストラクターを務めるマリリンさん(本名: 富田真理)は「周りを気にせず、無理なく体を動かして思いっきり楽しむことができ、心も体も元気になる。高齢者にはうってつけ」とニコリ。開級式には上原秀雄理事長が駆け付けた。



ズンバの曲に合わせて軽やかに踊る女性会員のみなさん



心地よい汗を
かいた後は講
師を囲んで
ポーズで
気分も
爽快に!



- ・日時 11月27日(水)・28日(木)
午後3時～5時
(いずれか1日受講)
- ・場所 シルバーワークプラザ大会議室
- ・対象者 管理群班登録会員(必須)及び
管理群班就業希望者
- ・連絡先 事務局 929-1361



管理群班(嘉川宗義班長)は駐車場整理業務でのサービスとマナーの向上を目指して、今年度第2回目の講習会を開催します。
管理群班での就業を希望する会員さんは、ぜひこの機会にご参加ください。

サービスとマナーの向上を目指す

管理群班必須
「駐車場整理業務講習会」

地区活動

美里中校地区

優勝は徳盛猛さん 準優勝は仲西トキさん
グラウンドゴルフ大会に13人参加

美里中校地区（金城吉信地区長）は9月29日、東松本公民館広場でグラウンドゴルフ大会を開催した。午後5時からプレー開始、まだ残暑厳しい中を参加者は所どころに伸びた雑草に阻まれたりして悪戦苦闘、汗だくになりながら熱戦を繰り広げた。入賞者は優勝が徳盛猛さん、準優勝は仲西トキさん、3位には島袋政夫さん。大会終了後は、同公民館で懇親会があり地区会員の近況やグラウンドゴルフの話などで盛り上がり、親睦交流を深めながら楽しいひと時を過ごした。



入賞者

優勝	徳盛 猛
準優勝	仲西 トキ
3 位	島袋 政夫

2020年会員手帳 申込受付中

主な特徴

- ◇ 文字が大きく、見やすい
- ◇ 月別カレンダーにメモ欄と備忘欄を新設
- ◇ 体験等記録欄を新設
- ◇ 便利なポケット付きでカード等が挟み込める

- ・申込締切日：11月29日
- ・お値段：350円（税込）
- ・お申込みは事務局（与座）

新入会員紹介

10月25日付で7人（女性1人・男性6人）が新会員として入会しました。地区会員の皆さんよろしく。

宮城 正行（安慶田中校地区）
當山 全政（コザ中校地区）
仲里 栄信（山内中校地区）
石原 昌夫（美東・東中校地区）
我謝 悦子（越來・宮里中校地区）
屋宜 宜一（美里中校地区）
儀間 盛明（山内中校地区）

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

60歳! 人生これから!

シルバー人材センターへ 入会しませんか?

1週間に**2・3日**
働けたらいいのに!

「この歳で働ける!仲間が出来た!孫に小遣いをあげられた!」年をとると実感も時間もユツタリと訪れます。60歳以上、沖縄市在住で健康で働く意欲のある方ならどなたでも歓迎。安全で簡単、軽易な仕事があります。ぜひお話を聞きに来てください。

毎日なにも
することがない!
退屈だ!

でも、
きつい仕事は
ムリ!



現在のシルバーでの主な仕事

- ・軽い労働
- ・家内外の掃除、片付け
- ・草刈り、植木の手入れ
- ・大工仕事、他
- ・一般
- ・電話受け付け
- ・パソコン、スマホ講師
- ・宛名、賞状書き
- ・訪問介護
- ・その他いろいろ



◇11月の予定◇

- ・8日(金) 午前10時
新会員入会説明会
- ・22日(金) 午前10時
理事会
- ・26日(火) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

台風19号は、東日本一帯に甚大な被害をもたらした。全国各地から懸命な支援活動が続くが、被災規模が大きすぎて今なお、先が見えないようだ。一日も早い復旧を祈るばかりである。人的支援と言えばボランティア活動だが、ボランティアの根底にあるのは助け合いであり、お互い様という純朴な思いが原点かもしれない。我がSCの理念にも「共助」を標榜、お互いに助け合うということが謳われている。先の普及啓発促進月間中に多くのシルバー会員がボランティア活動に関わった。まさに、脈々と培われてきたうちな一ユイメール精神の面目躍如、地域社会への役割を担い、多大な貢献がアピールできたといえよう。

編集

東條 正躬
大城 博